

ママ・パパたちの活動紹介

小さく生まれた  
赤ちゃんのこと、  
みんなで話そう  
考えよう

「やんばるちびっこの会」  
の紹介



## やんばるちびっこの会と

沖縄県北部を中心に「低体重で生まれた子」を持つ親が集まる会として 2016 年に活動を始めました。

会といってもそんな堅苦しいものではなく、子連れでまったりできる「ゆんたく会」です。

低体重で生まれた子を持つ親だけでなく、発達に問題があったり、ケアが必要な子だったり、とにかく気軽に集まれるような場になればということで「来たいなあ〜」と思う方なら誰でも参加できます。

うちの子は小さく生まれたゆえに、小さな頃は入退院を繰り返し、小児科病棟の常連になっている事がありました。自然と看護師さんとも仲良くなり、同じく常連さんともよく顔を合わせるように。入院中、酸素や経管栄養をしている子に親近感を覚え、声をかけているうちに、もっと話したい!!集まりたい!!という思いでうまれました。

○31週で早く出産し、心配だったけど、娘の力強い産声を聞いて安心しました。

(31週、1,635g出生、現在6歳)

○早く産んでしまった時は、毎日自分を責めていましたが、今すすく大きく育つ娘を見て、あの時の経験でより強い母になれているかな…と感謝の毎日です。生まれてきてくれてありがとう。(29週、1,179g出生、現在4歳)

最初の1回目は公民館の和室を借りて、一緒に会を發起した県立北部病院の看護師さんと私、病院で声をかけた3組の親子で開催。在宅看護あるあるや、医療制度や福祉の情報交換など大いに盛り上がりました。その後も入院患者さんへの看護師さんの声掛けや SNS、手作りのチラシを見た方が会に参加して下さり、繋がりや広がり多くのご家族と出会うことができました。

会の存在を知りつつも、お子さんの状況を受け入れる事に必死で、参加まで足が向かない、という方もひとりやふたりではありません。思い切って参加するのに1年以上かかった方もいらっしゃいました。

出会った頃は医療ケアをしていた子供が歩いていた。ランドセルを背負っていたり。野球を始めたり。おしゃべりも上手に。一緒に成長を喜べるのもこの会の特徴です。

不定期ですが、対面での開催、オンラインでの開催も行っております。また、やんばるだけに留まらず今では沖縄市や那覇でも開催していますのでお近くの場所でお会いできればと思います。

望んでなった結果ではないゆえに、同じ思いをしたからこそ分かち合えることはとても多いと感じています。アウトプットするだけでも気持ちは楽になるはずですよ。

やんばるちびっこの会は「親御さんの為」の会です。ご自身のペースで、ほんの少し前を向けた時に、つながりが欲しい時に、いつもそこにある存在としてあり続けたいと思っています。

やんばるちびっこの会代表 石上 朱美  
(24w3d 690g 9歳)

やんばるちびっこの会～低出生体重児親の会～  
MAIL:oki.yanbaru0980@gmail.com  
Facebook:https://m.facebook.com/yanbaruchibikko/



- 保育器の中にいた娘、今ではきょうだいの中で一番元気です。  
(32週、1,500g出生、現在3歳)
- 日に日に少しずつ体重が増え、頑張って成長している息子を見て、母もポジティブに気持ちを持つようになった。(32週、1,999g出生、現在1歳)
- 少し小さく生まれたけど。元気で生まれてくれてありがとう。  
(1,660g出生、現在7歳)